

2020年12月1日

株式会社三和スクリーン銘板で「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ}、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な確認を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

株式会社三和スクリーン銘板（代表取締役社長 後藤 英一郎^{ごとう えいいちろう}）は、11月20日に本商品を発行いたしました。

株式会社三和スクリーン銘板は、「人が生きてこそ企業が活きる」「思いやりのものづくりで新たな驚きを創り出す」という理念のもと、加飾技術のメーカーとして自動車の装飾品や家電製品の操作パネルの製造を行い、お客様とともに成長してまいりました。今回の ESG 評価の取得をきっかけに、今後、更なる ESG への取り組み強化を図ってまいります。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ 重点課題について、活動指針→経営方針→経営戦略の各段階に落とし込んで特定されており、特に経営目標に掲げられた重点課題に関しては、年2回、国内外の全役員が参加する会議で議論し、対応している点。
- ✓ 3R（リデュース、リユース、リサイクル等）に関して、経営層も関与したガバナンス体制が構築され、計画的な取り組みを実施している点。
- ✓ ガバナンスに関して、経済・環境・社会テーマの責任者やリスク管理の責任者として取締役を任命している点。

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げており、本業である金融機能を通じた環境及び社会の課題解決に積極的に取り組むことで、持続的な事業の成長と企業価値の向上の実現を目指しています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上